

# SA 吹田 通信 第15号

2004年8月

発行 SA 吹田 事務局 〒565-0821 吹田市山田東4-41-4-506

TEL&FAX 06-6876-1437

## ★吹田市立竹見台児童センターおもちゃづくり週間に参加して★

奥 正昭 (SA14期)

連日、暑さの厳しい日が続く8月2日～6日の5日間、吹田市立竹見台児童センター遊戯室において、幼児（保護者同伴）・低学年に手づくりおもちゃづくりの指導を、SA吹田13期（4名）・14期（8名）・16期（14名）の方々と共に参加しました。

5月に児童センターより、八木さん（16期）を通じて、8月に手づくりおもちゃ週間として5日間開催したいので、指導をお願いできないかとの依頼があり、検討の結果、お引き受けしたものです。

おもちゃ週間参加人数・指導おもちゃ名・SA参加人数は次のとおりです。

月 日	参加人数	指導おもちゃ名	SA参加者数
8/2	30 (7)	カップゴマ・ストップザマジック	5
8/3	33 (7)	お猿の太鼓・ストロートンボ・ストロー笛	5
8/4	32 (7)	ビックリ箱・ハネガエル	5
8/5	35 (8)	風車・けん玉人形	5
8/6	40 (8)	のぼる動物・パッタ	6
合 計	170 (37)	11	26

※ ( ) 内は保護者数。 人数は延べ人数

毎日午後1時30分児童センターに集合、2時開始、スタッフ一人で子ども6・7人を指導しました。児童センターで事前に定員20人参加希望者を募ったのに対して、毎回定員オーバーで準備した材料が、日によっては不足することもありました。表のとおり、毎日参加者が増え、児童センターに来館し参加したいとの申し出があってもお断りする日があり、また、親子5人で、5日間おもちゃづくりに参加された家族もありました。

最初に、その日のおもちゃ担当より材料一式を渡し、作り方を説明し、幼児は親に、低学年はスタッフが一人一人に手をとって指導、一つ出来上がるとおもちゃの使い方、遊び方について指導し、カップゴマ・ストロートンボの場合は競技会も開き、遊戯室が児童の歓声と活気に溢れていました。親子、児童たちに自分で作る楽しみ、「飛んだ」「回った」「登った」と言う感動を味わってもらいました。

自分で作ったおもちゃを大事そうに持って、笑顔で帰ってゆく姿が印象的で、最終日に保護者に感想を聞いてみると、“非常によかった”、“今後も続けてほしい”、“夜になってもその日に作ったおもちゃで遊んでいる”とのことでした。

暑い中、参加された皆様お疲れ様でした。

## ◆ボランティア活動と私◆

森山 とし子 (SA16期)

初めてのボランティア活動は4年前、千里中央の駅頭でのフェスト会による福祉基金の募金活動でした。基金が利用されている重要な目的を理解して募金をしていただける方々に感謝して、ボランティア活動の役割の大切さを知る最初の体験となりました。現在も継続して活動していますが、社会環境は今日なお一層世代間交流が必要な状況になってきていますことを日ごろから深く思っていました。

幸い、シルバーアドバイザー養成講座を受けながら、地域の小学校に招かれて伝統玩具や昔の生活状況をお話しするなどの交流をしてきました。生徒からは沢山の絵手紙をいただき、ぜひまた来てくださいと書いてありました。自信につながる宝物でした。終了後は、養成講座で学ばせていただいたことを、地域の社会に活かすため、皆様のご努力により、サポート吹田16を創立していただきました。

お蔭様で世代間交流・国際交流・福祉など地域活動も総合的なボランティア活動に分野が広がりました。ささやかな交流活動でも、心に触れる伝え方をしていかなければと思っています。皆様に支えていただき目的に向かって、主婦業に組み込んだ、社会への奉仕の時間を大切に、日常生活に活かして行きたいと思っています。多くの人と出会いと勇気を戴き、勉強をさせていただき、サポート吹田16に和む明るい集いのメンバー、さらにはSA吹田の一人として経験を積みつつ活動をしてまいりたいと思っています。

## ●車椅子体験学習会●

三好 桂子 (SA13期)

8月16日、老吹田・SA吹田合同で車椅子体験学習会を、老人総合センター2階運動室で行いました。講師にはSA15期地域コーディネーター出身の新地さんと岡本さんの二人をお迎えしました。新地さんから車椅子の種類、名称、扱い方、介助の留意点などを学び、その後で実習に入りました。今回は、車椅子のブレーキの関係があり、室内での実習とエレベーターの乗降を二人一組になり体験しました。17名の参加者のほとんどが車椅子を押した経験はありましたが、車椅子を操作するのは押す方なので、利用者に安心感を与えるように、基本をしっかり踏まえたうえで扱うようにと、講師から指示があり受講者は真剣に取り組みました。

★車椅子介助の留意点を当日配布のテキストより抜粋して掲載します★

- ① 安全確認のために、使用する前には車椅子を点検する
  - ・ ブレーキはあまくないか
  - ・ タイヤの空気が抜けていないか
  - ・ ハンドグリップ、アームレスト、フットレストなどほしっかりとまっているか
  - ・ 異常音や振動はないか
- ② 車椅子への乗り降りや、止まるときは必ずブレーキをかける。
- ③ 乗り降りするときはフットレストをあげる。
- ④ 動かし始めるときやキャスター（前輪）を上げるときは、要介護者に声をかける。
- ⑤ 走行中に姿勢がくずれないように、また手や足を巻き込まないように注意し、要介護者の状態を観察する。
- ⑥ 事前にコースをチェックし、安全に心がける。  
(砂利道、急な坂、階段、エスカレーターは避けたほうがよい)
- ⑦ 長時間の外出には、脱水に気をつけ、飲み物そして日傘や帽子を準備する。

※老犬・SA 合同の学習会は今回が初めてです。これからは、機会があれば継続して取り組みたいと考えています

◆【お願い】・・・声をかけましょう！◆

視覚障害の方が白杖を顔の前に持ってきたときは、助けを求めているときです。迷わずに、「お手伝いしましょうか」と声をかけてください。

◆SA17期生の自主運営講座の取材活動に応じて◆

橋 ユミ子 (SA14期)

SA17期生より、自主運営講座で、SA連協のいろいろな活動状況を知り、修了後の活動指針にしたい。については、専攻課程毎にチームを組んで、全興寺のおも路地、四恩学園での福祉ボランティア活動（いづれも大阪市SA連協で対応）と、SA堺とSA吹田の活動状況について話を聞かせてほしいとの申し入れがありました。8月18日（水）午後、あいほうぶ吹田で、17期地域活動コースの5名（川西、城、北原、赤川、松川）の方と、SA吹田からは役員5名（丹羽、橋、武内、安藤、奥谷）が、懇談いたしました。双方自己紹介の後、SA吹田の現状と活動の全体の姿を説明し、続いておもちゃづくり、歌体操、外国人支援、養護施設などでの活動の具体例をそれぞれの担当から話しました。17期生側からは、「修了後の活動テーマについて」「支部運営について苦心するところは」「リーグのあり方について」「連協について」「おもちゃづくりや歌体操などの具体的な進め方について」など、修了後の活動を視野に入れた熱心な質問が続き、約2時間半に及ぶ懇談となりました。今日の懇談で、17期生の地区SA、さらには連協への加盟が一人でも多くなることを期待しています。

★あなたも歌体操を始めてみませんか・・・SA吹田通信13号の訂正・追加

【訂正】

みのりの会（代表・佐藤）誤 南千里公民館 →正 佐竹台市民ホール

【追加】

代表者 連絡先	グループ名	会場	活動日
岡田 (6876) 5567	松風園 歌体操ボランティア	特別養護老人ホーム 松風園 (3F)	第1・第3金曜日 午後2時～3時半
岡田 (6876) 5567	福祉ボランティア 茲 (ここ)	南千里公民館	第1・第3月曜日 10時～12時
西本 (6877) 3958	友楽	吹田市介護老人保健施設	第1・3・5火曜日 第2・4木曜日 10時30分～12時 12時45～13時30分

## ■おもちゃ作りに参加して■

8月21日から23日の3日間、メシアターでこども演劇フェスティバル2004が行われ、SA吹田おもちゃづくり市民塾に要請があり、22日の午後、中ホールロビーにおいて、12時半よりおもちゃづくりが始まった。予想では対象児童は演劇の合間に来るものと思っていたが完全に外れた。正午に演劇が終わり観客が出た後、机を出し準備を始めると、児童が母親等に連れられて続々やってきた。演劇とは関係なくおもちゃを作る目的で来てくれた人達であった。丹羽会長をはじめ市民塾5名と16期生4名で対応することになった。それからは戦場で息つくまもなく、紙ヒコーキの山地さん、市民塾の女性たちによるカップごま、テープごま、そして私たちはビックリ箱、フィルムケースのパイプいと輪、予備に持ってきたストロークライダーも出して対応した。親子で作る楽しさ、夢中で作った作品で遊ぶ子ども達、喜んでくれる姿を見ていると大変嬉しくなった。持っていた昼食のおにぎりも気がつけば2時半、やっとかぶりついて、あと一息。ほぼ用意していた材料も底をついた午後3時に終了した。今回は見込みの難しさを実感したが、そこはベテラン揃い、まさかの際の用意があったと思う。最後には慰労と反省をして散会した。

### SA吹田活動予定表 (9月～10月)

9月2日(木)	日本語を知ろう・学ぼう・お話しよう「やまびこ」北千里公民館	10時～12時
9月9日(木)	SA吹田役員会 北千里公民館	午後1時～4時
9月11日(土)	おもちゃづくり市民塾 北千里公民館	10時～12時
9月16日(木)	午前 擬似視覚障害体験指導方法勉強会 北千里公民館	
9月18日(土)	第7回ミニ文化交歓会 桃山台小学校	13時～16時
9月27日(月)	懐かしい歌声の集い 「ドリームネット」南千里・市民センターホール	14時～16時
10月9日(土)	おもちゃづくり市民塾 北千里公民館	10時～12時
10月21日(木)	午前 車椅子体験学習と擬似視覚障害体験 山手小学校	
10月23(土)～24日(日)	終日 江坂公園 緑のふれあいに参加	
10月下旬～11月中旬	千里高校 竹細工指導	

### ★大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会(平成16年度版)会員名簿 配布中!

【SA吹田通信】第15号と同時に配布しています会員名簿に下記の誤りがありますので、訂正をお願いいたします。(敬称略)

・1ページ	梅津 真	誤11・国際→→	正13・地活
	窪田泰之	誤7・世代→→	正14・地活
・2ページ	松之下輝子	誤10・国際→→	正14・福祉
	佐々木美綺子	誤13・福祉→→	正14・地活
	山添栄造	誤13・地活→→	正14・世代

編集後記 アテネオリンピックは私たちに毎日素晴らしい感動を与えてくれています。選手  
の素晴らしい活躍と記録の陰には力強い応援団がいることも大変印象的です。暑かった夏も  
もう少しの辛抱です。夏バテの方は早めに体力を取り戻しておきましょう。